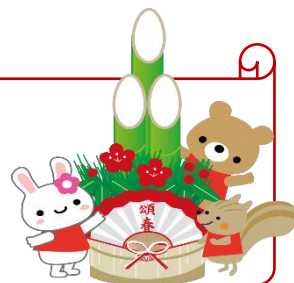


いずみ

令和5年 1月号発行
図書委員会 2年8組
濱田莊太・平塚茉穂



令和5年になりました。気持ちも新たに3学期がスタートしましたね。
年末年始は、本を読んでゆっくりする時間はありましたか。本を読んだり、新聞を読んだりする習慣をこの1年で身につけてみてはいかがでしょうか。スマホの世界より、楽しい世界が本の中には広がっていると思います。今年初の1冊を是非図書館で借りてくださいね。

<長谷川タさん特集>

《長谷川タさんってどんな人?》

2015年、初刊の改定前作品「亡霊」でノベル大賞を受賞したミステリー作家です。

《作品紹介》

『僕は君を殺せない』

初刊にして最高傑作。最も作者らしさの詰まった軽妙なミステリーです。

僕と君の関係、親しみのある語り口調、着々と進んでいく犯行計画、読み進まずにはいられない一冊です。

『おにんぎょうさまがた』

本当に恐ろしいのは人形なのか、人間の本性なのか…。美しくアンティークなお人形が物語る短編集です。それぞれ違った能力のある人形に錯綜される、不可思議だけれどどこかリアリティーのある一冊です。

『どうか天国に届きませんように』

この願い事はだれも聞かなくていい。幼少期に体験したことに青年期を惑わされる数人のお話が詰まった一冊です。

『七不思議の作り方』

七人の願いが創立間もない校舎の七不思議となっていく。これまでのホラーチックな物語とは少し違う、切ない一冊です。

『月の汀に啼く鶴は』

その町のある風土研究家によって書かれた本の謎を暴いていく、怪奇に隠れた優しさを照らすような風土幻想奇譚です。

『花に隠す』

日本の四季から春と秋が消え、夏と冬に地獄のような暑さと寒さが降りかかる日のできた頃のある日の短編集です。今後どこかで起こるかも知れない、変わってしまった気候を利用した完全犯罪の物語です。





～ブックショッピングに行ってきました～

今年度3回目のブックショッピングが12月16日に行われ、1、2年生6名が参加しました。

場所は、今月いっばいで閉店する明屋書店大街道店(アエル2階)です。

今回は参加したのが全員男子で、本の傾向が偏るかなと思いましたが、幅広いジャンルの本が集まりました。松北のみんなに読んでもらいたい本ばかりを購入してきたので、是非、図書館に足を運んで手に取ってみて下さい。



★本の貸し出しについて★

3年生は、1月末で本の貸し出しを終了します。

必ず期限を守って返却をしてください。

また、1、2年生も返却期間を過ぎている本を早く返却してください。

その本を読みたくて待っている人がいます。

ご協力をお願いします。



《図書委員お薦めの本》 part8



書名	作者名	おすすめの理由	図書委員	
「本好きの下剋上」	香月美夜	表紙が面白そうで読み始めました。まだ完結していませんが、どの巻もとても面白いのでぜひ読んでみてください。	104	荒谷
「15歳のテロリスト」	松村涼哉	まだ15歳の少年が、亡くしてしまった妹の恨みを晴らすために復讐をするという話で、ストーリーの展開が速く面白かったから。	104	越智
「優しい死神の飼い方」	知念実希人	主人公と登場人物との掛け合いが面白かったから。	105	堀川
「崩れる脳を抱きしめて」	知念実希人	まず、タイトルと表紙に惹かれて本を読み始め、最後読み終わったときの感傷が凄かったからです。	105	小林
「桜のような僕の恋人」	宇山佳佑	僕の恋人である美咲は歳をとるのが速くなる病気にかかってしまいどんどん老いていきます。しかし、どんな姿になっても愛し続ける一途な恋に心が惹かれたので、この本を選びました。	106	武井
「カゲロウデイズ」	じん「自然の敵P」	この本の元となる曲が好きで、とても面白かったから。	106	白石